

白神自然環境研究所教授会議事要旨

日 時：平成28年5月24日（火）9時00分～10時35分
場 所：コラボレーションセンター8階 農学生命科学部大会議室
出席者：檜垣所長、石川副所長、殿内、本多、大高、中村、松山、丹波、山岸
欠席者：東、石田、荒井、上條（委任状提出）
事 務：小田桐、成田、肥後

議事に先立ち、所長から、4月22日開催の教授会議事要旨（案）の確認が行われ、承認された。

【審議事項】

1. 平成28年度事業計画について

専任担当教員から、資料1-1に基づき、平成28年度事業計画について、前回教授会からの変更点を中心に提案説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

関連して、所長から、資料1-2に基づき、戦略的事業1（中核事業）に係る年間計画書及び工程について報告があった。

2. 平成27年度決算報告及び平成28年度予算配分について

所長及び副所長から、資料2に基づき、平成28年度支出予算配分額について、概略次のとおり提案説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

- (1) 平成27年度予算配分額より1割程度削減して予算要求していたが、トップマネジメント経費を含めて全体で19,972千円が配分されており、事業費では要求額の20.6%減、管理運営経費では要求額の8.5%減となっている。
- (2) 管理運営経費の大半を占めている通信経費については、次年度からの契約見直しに向けて検討を行っている。
- (3) 環境モニタリング事業のうち、ひろだい白神レーダーの改修については、予算措置が厳しいことから、経過観察することとしたい。

引き続き、事務から、平成27年度決算報告について、事業費相当分のうち1,650千円を事務局へ引き上げたこと、管理運営経費相当分で521円残額が生じたことの報告があった。

次いで、所長から、ひろだい白神レーダーの活用方策及び次年度以降の予算確保に向けての対応等を検討するワーキンググループを設置することが提案され、異議なく承認された。

【報告事項】

1. 所長報告

所長から、資料3に基づき、概略次のとおり報告があった。

(1) 企画戦略会議

- ① 理事（企画担当）から、教育研究院の英語表記について、各学系・領域に照会することの説明があった。
- ② 理事（企画担当）から、新たな組織評価を実施することの説明があった。

(2) 教育研究評議会

- ① 新たな教員業績評価（試行）実施要項の制定について報告があった。
- ② 平成28年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）に岩手大学を代表者として申請することの報告があった。
- ③ 資料館において「下北の地形・地質とジオパーク」と題する企画展を開催することの報告があった。

(3) 地域イノベーション学系会議

- ① 北日本新エネルギー研究所（准教授）の専任担当教員採用に係る公募要項について、応募期間等を変更することが追認された。

2. 教員任期審査委員会報告

副所長から、平成29年1月31日をもって任期満了となる専任担当准教授の再任に係る教員任期審査委員会を5月17日に開催したこと、副所長が委員長に選出されたこと、審査方針等について検討が行われ、今後のスケジュールが確認されたことの報告があった。

3. 白神山地植物情報検索ウェブサイトへの画像提供ルールについて

専任担当教員から、資料4に基づき、白神山地植物情報検索ウェブサイトにおいて「きのこ」のページを近日中に一般公開すること、当サイトへの画像提供ルールを策定したこと、知的財産担当者及び弁理士に相談の上、契約書の書式を作成したことの報告があり、種々の意見交換が行われた。

上記の意見交換を踏まえ、外部からの画像提供手続きが煩雑にならないよう、提供するパターンをいくつか示したり、追加提供する場合の運用を検討したりすることが確認された。

4. 附属白神自然観察園利用計画について

事務から、資料5に基づき、附属白神自然観察園の施設利用申請のあった7件について報告があった。

5. その他

(1) 標本の受入れについて

専任担当教員から、元青森県職員を通じ青森市民から本県における貴重な史料となる植物等の標本（約32,000点）を本研究所で受け入れることの報告があり、受入時期及び受入体制について意見交換が行われた。

上記の意見交換を踏まえ、寄附受の手続きを進めること、報道に関する先方の意向を確認すること、保管場所について理事及び学長への説明が必要であることが確認された。

以 上

次回以降開催予定 平成28年6月28日（火）8時45分～10時15分
※平成28年7月は後日調整の上で決定する